

# 農作業コツのコツ

【第3号】  
令和7年4月19日  
福光農業改良協議会  
砺波農林振興センター南砺班  
福光農業協同組合 営農部

4月の気温は、高くなることが予想されていますので、ハウス内の換気を徹底し、硬い健全な苗に仕上げましょう。また、丁寧な代掻きで田面の均平に努めるとともに、適切な田植えと浅水管理で初期分けつを確保しましょう。

## 水稻・移植

### 1 育苗後半の管理

- ・硬化期のハウス内温度は、昼間25℃以下、夜間10℃以上を目安に管理を徹底しましょう。
- ・田植えの7日前頃からは夜間も換気し、硬い苗に仕上げましょう。
- ・かん水は早朝1回を原則とし、箱の底まで浸透するよう、むらなくかけましょう。  
また、フェーン現象等で乾いた場合は日中もかん水しましょう。

<表 搬出後の温度管理の目安>

作業	緑化期		硬化期
	ハウス内の温度管理	昼間	28℃以下
	夜間	10℃以上	

かん水が多すぎる(特に低温時は注意!)と根の伸びが悪くなるとともに、カビが発生しやすくなります。

### 2 田植え

#### (1) 代かき作業

除草効果を高めるため、

- ①代かきから田植えまでの日数は3~5日とし、長くならないようにしましょう。
- ②少なめの水で代かきを行い、稻ワラや雑草を鋤き込み、**田面を均平に**仕上げましょう。

#### (2) 基肥量

- ・倒伏が懸念されるほ場は、基準量から1割程度減らしましょう。
- ・密苗栽培は、施肥基準量を厳守しましょう。
- ・前年、出穂前に色ざめしたほ場では、基準量を確実に施用しましょう。

作業前や田植中、田植機の施肥ホッパやホース、排出口に詰まりがないか 確認しましょう。

※品種毎の基肥量は『営農とくらし』52~53ページを参照してください。

#### (3) 田植作業

- ・ブーンレバード箱粒剤の散布(播種時に施用していない場合)

散布量	慣行苗 50g/箱	密苗 50~100g/箱 (1kg/10a)
散布時期	田植え当日までに均一に散布	

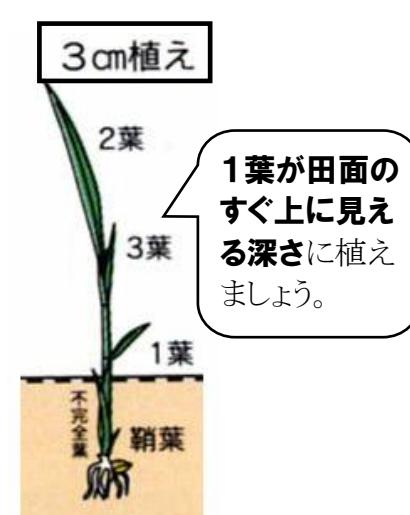
密苗の10a当たり散布量は1kgを超えない。  
例) 苗箱数12枚/10a  
→施薬量80g/箱  
13枚/10a→76g/箱

【注意】ハウス内で野菜等の作付けを予定している場合は、ハウス内の散布は禁止。

- ・田植前には必ず田植機の調整(植付株数、本数、深さ)を行うとともに、田植え開始時に植え付け状況を確認しましょう。
- ・低温や強風の日は田植えを避けましょう。
- ・出芽ムラが大きい苗を田植えする場合は、**かき取り量を多くし**、欠株を防止しましょう。但し、かき取り量を増やした場合、使用苗箱数が多くなるので、10a当たり株数をやや減らすなどして不足苗箱数を調節してください。

#### 【田植作業の目安】

	とみちから 五百万石	てんたかく81 コシヒカリ	てんこもり
植付株数	80株/坪	70株/坪 (コシヒカリ:中山間地域など初期茎数のとれにくいほ場は80株/坪)	60株/坪
植付本数	慣行苗3~4本/株 密苗5~6本/株		
植付深さ	3cm程度		



育苗ハウスの換気を徹底し、がっちり苗に仕上げましょう。

### 3 田植後の水管理

- ・田植後の植え傷みを防ぐため、苗が水没しない程度の深水(5cm程度)としましょう。  
なお、密苗については、田植後は浮苗による欠株防止のため、浅水管理としましょう。
- ・活着後は3cm程度の浅水管理を徹底し、田水温を高め、初期分けつの発生を促しましょう。
- ・低温や強風が予想される場合は深水とし、天候回復後はすみやかに浅水管理にしましょう。

## 水稻・直播

### 1 湿水直播の播種床の準備

- ・代かき時の水は少なめとし、練りすぎないようにしましょう(特には場の枕地)。
- ・代かきから播種までの日数は黒ボク土で2~3日、粘質土で4~5日としましょう。
- ・播種時に田面が軟らかすぎる場合は、落水状態をしばらく継続し、田面が硬すぎる場合は入水し、適正な土壤硬度の確保に努めましょう。

#### カルパー(土中散布)



田面 0~1cm

播種深さの目標は  
土中5~10mmに  
播種する。

#### 鉄コーティング(表面播種)



田面 0cm以上

種子が田面に張り付  
き、施肥溝が埋まら  
ない程度の硬さとする。

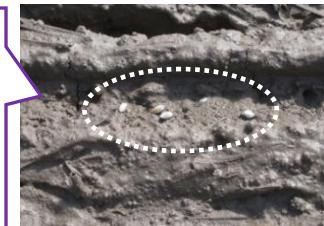
写真 播種時の土壤硬度の目安（高さ1mからゴルフボールを落とした場合）

### 2 カルパーコーティング

#### (1)播種

確実に覆土(5~10mmの播種深度を確保)  
されていることや、種子や肥料の落下量を  
確認しながら播種しましょう。

覆土されていない種子が  
多い場合は、播種直後に  
1日入水してから落水  
し、種もみを落ち着かせま  
しょう。



#### (2)播種後の水管理

- ・播種後5~7日程度は田干しを行い、種子に酸素を提供しましょう。  
また、強風が吹くなど荒天の場合には、乾きすぎにも注意しましょう。
  - ・田干しが終了したら入水し、水持ちを安定させましょう。
  - ・水持ちが安定したら、湛水状態で除草剤を散布しましょう。
- ※詳しくは『営農とくらし』の76~77ページを参照してください。



足を踏み入れ、2~3cm  
程度しか沈まなくなった頃  
が入水時期です。

### 3 鉄コーティング

#### (1)播種

代かき後自然落水し、土壤がある程度締まった  
状態で播種しましょう。

#### 【播種量の目安】

播種量(乾粒)	3.0~3.5kg/10a
1m間苗立本数	12~25本

播種時の土壤の硬さは、種子  
が田面に張り付き、施肥溝が  
埋まらない程度



#### (2)播種後の水管理

- ・播種同時または播種直後に必ず除草剤を散布し、除草剤の効果を高めるため、播種後7日間程度は深水(水深5cm程度)による湛水管理を行いましょう。
  - ・湛水管理後は水を落とし、田面が湿った状態を保つ飽水管理を行い、出芽を促進させましょう。
- ※詳しくは『営農とくらし』の78~79、82~83ページを参照してください。